

# 遠野市緑化祭『里山フェスタ2022』

令和4年6月11日(土)「令和4年度 遠野市緑化祭『里山フェスタ2022』」を開催しました。  
今年、市や県を始めとした行政及び林業関係者のほか、昨年までコロナ渦で参加を見合わせていた緑の愛護少年団や一般市民が3年ぶりの参加となり、総勢346名が遠野市宮守町達曽部 椴川目市有林に集いました。



副実行委員長(支署長)の開会挨拶

緑化祭当日は、晴天にも恵まれ活動のしやすい気候となりました。  
開会式後に、遠野地方森林組合による「高性能林業機械」の実演が行われました。

あっという間にスギが切り倒され、枝払い・採材、集積と一連の流れで作業が行われました。その様子に、あちこちから歓声があがっていました。

実演の後は、いよいよ植樹となります。各班ごとに植樹場所へ移動し、カラマツの苗木とクワを受け取り作業を開始しました。

ササの根っこや大きな石があるため穴堀に苦戦しつつも丁寧に植え付けている様子が見受けられました。



高性能林業機械の実演

植樹も終わり、記念植樹会場に移動中、「カラマツの成長を見にまたここに来ようか」と会話している親子もいました。

その様子に、支署長の開会挨拶、「植樹は『植樹して、育て、伐採して、利用する』という、森林を循環利用していく上で重要な一コマ」という言葉が浮かんできました。

みんなで植樹したカラマツが大きく成長し、製品として利用される将来に思いを馳せ、今回の植樹を通じて多くの方が、森林の大切さを学ぶ機会になってもらえたら嬉しいです。



説明に聞き入る愛護少年団



上手く植えられたかな



親子で協力



参加者全員での記念撮影



記念標柱の設置

岩手南部森林管理署遠野支署  
森林整備官 工藤 恵